

# フォトニュース

## 地域の行事「とんど」



1月17日、楊津小学校で児童と保護者、地域住民など約300人が集まり、とんど大会が行われました。竹に結んだ書初めが高く燃え上がると、子ども達は喜びの声をあげていました。また、もちつきや、コマ・羽子板を楽しむなど、一日地域の人と伝統行事にふれあいました。

## 給食に郷土料理を



地域に根付いている食に関心を持ってもらおうと、1月28日、「しし肉」を使った郷土料理「ぼたん汁」が学校給食に登場しました。前日から先生にぼたん汁の話聞いて、その日の給食を楽しみに待っていた児童もいるなど、皆ふるさとの味を満喫しました。

近現代の川辺郡  
 古代の川辺郡は、和銅6(713)年に能勢郡を分置した記録が残るように、現在の能勢町などをも含む大きなものでした。  
 明治維新以降、地方制度も変革・変遷を重ね、明治11(1878)年、「郡区町村編制法」が制定され、翌12年には、近代の郡としての川辺郡に、初代郡長 児島晴海が着任、伊丹町に郡役所が置かれました。明治22(1889)年には市制町村制が施行され、川辺郡は六瀬・中谷(現猪名川町)、東谷・多田・川西(現川西市)、西谷・長尾・良元・小浜(現宝塚市)、神津・稲野(現伊丹市)、武庫・立花・大庄・小田・園田

## いな 歴史ウォーク ⑦

(現尼崎市)、高平(のち有馬郡。現三田市)の17村と伊丹町、尼崎町で構成されました。  
 大正から昭和初期には尼崎市(尼崎町と立花村の一部)伊丹市(伊丹町と稲野村)が発足、昭和の大合併で近隣地域は全て市制を施行、1郡1町の猪名川町が誕生しました。



往時の川辺郡役所(現伊丹市宮の前) 伊丹市立博物館提供

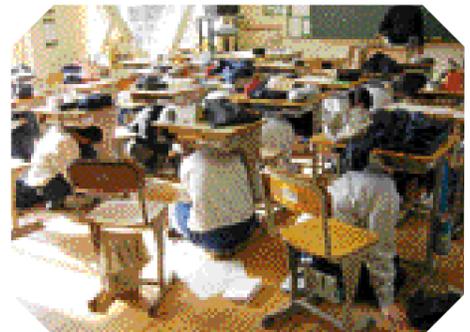
## 新たな出発点

1月12日、成人式を文化体育館で開催しました。今年の対象者は382人。式典後、若人の集いとして、ミサイルマン・サバンナの漫才や抽選会、茶話会が行われ、恩師からのビデオレターで会場は笑顔に包まれました。



1月11日、消防出初式が開催され町消防職員・団員など総勢471人、消防車両39台が勢ぞろいしました。住民が見守る中、観閲行進や消防演技、消防団による一斉放水が行われ、日頃の訓練の成果を披露しました。

## 勇壮な姿で訓練の成果を披露



## 地震から身を守るために

阪神・淡路大震災から14年になる1月17日、中谷中学校で保護者や地域住民も参加して総合防災訓練を実施しました。生徒達が授業で防災について学んだ後、避難場所となる体育館で、学校と地域が一体となった「避難所開設訓練」を行いました。

応えんがっせんで、がんばっているようすを絵カルタにしました。

わたせ 渡瀬 京香さん(2年)



みかんのつぶつぶを、たくさん色をまぜて作りました。

たきがわ 瀧川 寿希也くん(5年)



大島小学校

## 世界一周

夢に向い、一日を力強く生活している姿が字に表れています。

みぞぐち 溝口 楓さん(6年)

元気で、さわやかな声が聞こえてきそうです。初めてのペン習字、ていねいに書けました。

なか いのり 仲 郁乃璃さん(1年)

おはなはよりのり